

福島県病害虫防除所より5月13日付けで「令和元年度病害虫発生予察情報 注意報第1号」が発表されました。中通り地方で、モモせん孔細菌病の春型枝病斑が例年より多く発生しています。今後、感染が拡大しないように、防除対策を徹底しましょう。

1 モモせん孔細菌病

(1) 発生状況

5月上旬の調査において、春型枝病斑の発生ほ場割合は福島地域、伊達地域ともに平年より高く、伊達地域では発生程度の高いほ場も認められました(図1)。また、新梢葉でも発生を確認しています。

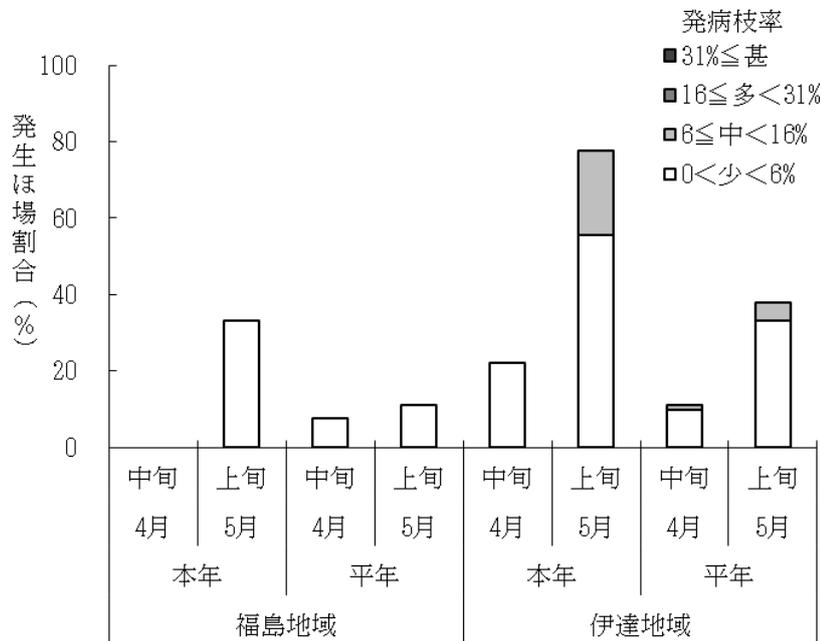


図1 春型枝病斑の発生状況 (5月上旬)

(2) 防除対策

春型枝病斑は、見つけしだい除去しましょう！！

耕種的防除と薬剤防除を組み合わせ、総合的に防除しましょう！！

ア 耕種的防除

・ 春型枝病斑は新梢葉や果実への伝染源となるので、ほ場内をよく観察し、疑わしい枝も含め徹底して切除してください。

・ 枝病斑を切除する場合は、発病部位が残らないように病斑部の周辺を含めて切除してください。

・ 今後は、発病葉や発病果実が二次伝染源となるので、見つかった場合には枝病斑とともに徹底的に除去し適切に処分してください。

イ 薬剤防除

落花期から7月まで、10日ごとに薬剤散布を行ってください。その際は、薬剤の使用濃度、収穫前日数に十分注意してください。また、同一薬剤の連用は耐性菌の出現のリスクが高まるので、連用せずに薬剤のローテーションにより防除を行ってください。

病斑部（葉・果実・枝）は確実に除去しましょう。
今後の摘果作業の際も常にハサミを持ち、粘り強く徹底して除去しましょう。



暗紫色に変色した箇所

芽周辺の暗紫色に変色した箇所



写真1：枝先に発生した春型枝病斑

写真2：枝中央部に発生した春型枝病斑

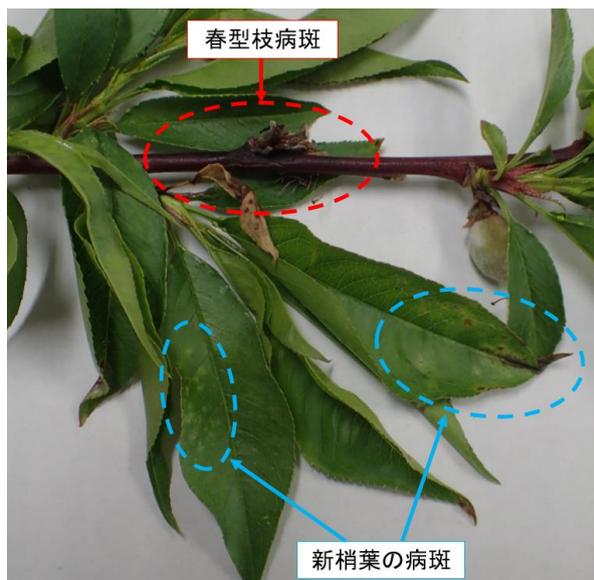


写真3：春型枝病斑周辺の新梢葉の病斑

病虫害の発生予察情報・防除情報

病虫害防除所のホームページに掲載していますので、参照してください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬の散布は使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7344

(以下の URL より他の農業技術情報等をご覧ください。)

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>